

令和3年度（通期）  
指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課：教育委員会事務局 生涯学習 部 図書館

1. 基本情報

1503

施設名	伊丹市立図書館神津分館		
施設の設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する。		
伊丹市総合計画（第6次）における関連施策	政策大綱：育ち・学び・共生社会 施策：生涯学習・スポーツ 実施施策：図書館サービスの充実		
指定管理者の名称	特定非営利活動法人わくわくステーション神津 (団体の住所又は所在地) 伊丹市森本1丁目8番地22		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成31年4月1日～令和6年3月31日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数・貸出冊数 (単位：人・冊)	
	指標の意味	年間の来館者数・延べ貸出冊数	
	今年度の目標値	41,000人・33,000冊	今年度の実績値 48,822人・38,080冊

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H29	H30	R元	R2	R3(上期)	R3(通期)
		来館者数(人)	-	44,198	49,047	44,733	44,502	24,306
講座開催回数(回)	-	36	80	116	27	14	31	
講座参加者数(人)	-	602	1,311	1,717	499	238	624	
貸出冊数	-	28,684	29,563	31,725	34,861	19,912	38,080	

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

区分		令和元年度(2019)	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	3カ年平均	
収入	使用料収入	0	0	0	0	
	事業収入	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	指定管理委託料	9,849	9,831	9,885	9,855	
①合計		9,849	9,831	9,885	9,855	
支出	維持管理	光熱水費	212	205	239	219
		清掃等委託料	0	0	0	0
		土地建物賃料	0	0	0	0
		修繕料	0	0	0	0
	運営	人件費	8,600	8,465	8,785	8,617
		事業等経費	163	251	166	193
		その他	0	0	0	0
		指定管理納付金	0	0	0	0
②合計		8,975	8,921	9,190	9,029	
純収支(①-②)		874	910	695	826	

施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※ <単位:千円>		H28	H29	H30	R元	R2	R3
市の収入		-	-	0	0	0	0
(内、使用料収入)		-	-	0	0	0	0
市の支出		8,484	9,389	9,454	9,849	9,831	9,885
(内、指定管理委託料)		8,484	9,389	9,454	9,849	9,831	9,885
実質経費(歳出-歳入)		8,484	9,389	9,454	9,849	9,831	9,885

※施設建設・大規模改修等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

#### 4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	館内の各部屋の清掃は職員が行い、美化については常に保たれているかチェックしている。修繕業務は利用者に配慮しながら市と協議し適切に実施している。	B	館内を清潔に保ち、利用者が過ごしやすくしている。感染症対策を適切に行っている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	A			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	A			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	防火管理者等の有資格者の職員の配置を適切に行っている。職員研修は必要に応じて適切に実施している。	B	仕様書に基づき、適正に職員を配置している。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B			
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	A			
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	神津交流センター防災マニュアルに沿って年2回消防訓練・避難訓練を実施している。	B	仕様書に基づき適正に行っている。
避難訓練を実施しているか。		B				
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	アンケート調査の実施や直接利用者から寄せられた意見要望等に迅速な対応を行い利用者増に向けた取り組みを図っている。	B	利用者の要望・意見等を聞き、魅力的な施設運営に努めている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	コロナ禍の中、人数制限等を考慮し満足していただけよう工夫しながら実施している。	B	おはなし会などの行事を行い利用者の増加に向けて積極的に取り組んでいる。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B			
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	個人情報が含まれる申請書類等は適切に保管・管理している。情報提供は広報紙の活用やチラシ等を工夫しながら実施している。	B	ホームページや広報紙への情報掲載など、取り組んでいる。また、個人情報の管理も厳正に行っている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	収支計画・経理処理は適切に管理運営している。	B	収支計画に基づき、適正に管理運営が行われている。
経理処理は、適切に行っているか。		A				

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

<b>施設所管課総評</b>	来館者数がコロナ禍前の水準に回復し、貸出冊数の増加や利用者満足度が高いことは評価できる。今後は、利用者ニーズを活かしてサービス向上に取り組むとともに、神津分館の立地を生かして、積極的に地域と連携しながら魅力的な図書館運営を期待する。
<b>総合評価</b>	<b>B</b>

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

#### ☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】令和3年12月1日～令和3年12月15日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	職員の接客態度 : 大変満足94%・満足6%	現状に満足せず親切できめ細かく対応できるよう努力します
	本の予約・貸出 : 大変満足68%・満足32%	利用者に満足していただけるようスピーディーな対応を目指します
	本の調べ物の相談 : 大変満足54%・満足32%	相談ごとに対応できる様日々の努力を重ねます
回答者数	催しやおはなし会等 : 大変満足32%・満足48%	催しは人気があるので回数を少しでも増やせるよう実施していきたい
50		

#### 5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置